ようこそ、ほたるの里、朝倉市へ！
このパンフレットでは、
私たちを楽しませてくれる
ホタルのことをご紹介します。

みどりあふれる清流のまち

・朝倉市・

ほたるの里

ホタルの一生

6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月　4月　5月　6月

（水温が12°C以下のときは活動しません。）

ふ化幼虫　幼虫は約10ヶ月間水中でくらします。

若齢幼虫　6回脱皮します。

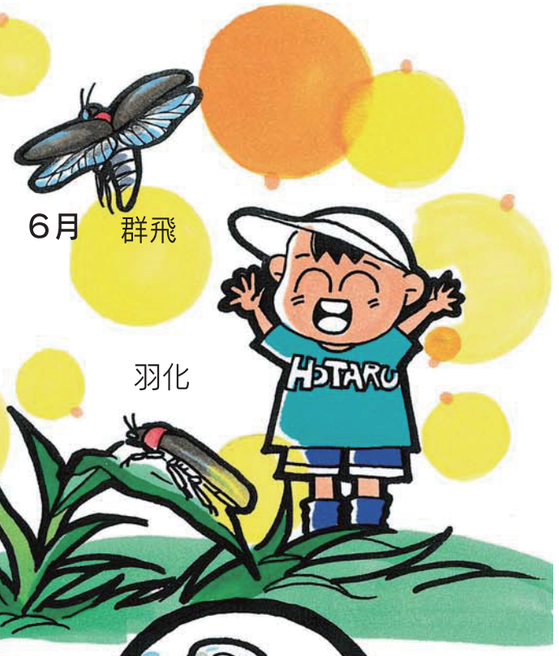
幼虫の上陸

終齢幼虫

蛹

羽化

群飛

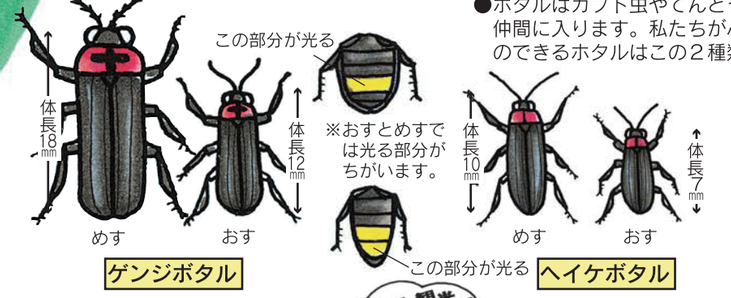


知ってるかな？ ほたるの話

●ホタルは一生の中で、たまご→幼虫→さなぎ→成虫と4回変化します。
●住む所も、たまごは川ごけの上、幼虫は川の中、さなぎは土の中と、3回場所を変えます。
●6月の中旬に産卵されたたまごは約1ヶ月でふ化し、幼虫は水の中に入ります。
●川に入った幼虫は自分の体の大きさに合ったカワニナという貝を餌にします。幼虫は約10ヶ月間水中でくらし、翌年の3月までに6回脱皮して成長します。
●約25mm程に成長した幼虫は4月下旬、雨が降って岸がぬれている夜に上陸します。
●土の中に入った幼虫は円形の部屋をつくり、土まゆを作ってさなぎになります。羽化するまでの50日間を土の中ですごします。
●羽化し、成虫になったホタルは夜露などの水を飲むだけで何も食べません。
●飛んでいるホタルはオスで、メスはほとんど飛ばずに草むらで光っています。成虫になって約1週間のあいだに交尾・産卵をします。

ほたるの種類

●ホタルはカブト虫やてんとう虫などと同じ仲間に入ります。私たちがふつう見ることのできるホタルはこの2種類です。



※ゲンジボタルとヘイケボタルのちがいは大きさと頭の部分にあるもようで分かります。

ほたるとカワニナの話

●ホタルの餌はカワニナという淡水の巻き貝です。ホタルはふ化するとすぐに餌をさがしますが、卵からかえったばかりのホタルの幼虫は約1mmほどしかありません。つまり、その体の大きさに合ったカワニナが必要になりますが、カワニナもホタルと同じできれいな川にしか生きてはゆけません。
ホタルを育てるにはカワニナも育てなければいけないのです。ホタルもカワニナも共存できるような美しい川や自然を守っていきましょう。

ホタル観光についてのお問い合せは

朝倉市商工観光課
0946(52)1428
URL http://www.city.asakura.lg.jp
あさくら観光協会（ほとめく館）
0946(24)6758
URL http://www.amagiasakura.net